

ひまわり

札幌市立幌北小学校ひまわり分校
札幌市立北辰中学校ひまわり分校
学校だより



令和6年10月21日

第26号

実験から学びへ

小学校3年生の理科では、太陽に関することを学びます。時間の経過と影の動き方や太陽の高さによる影のでき方を学び、更に、太陽の光の進み方、太陽の光には明るさと温かさを感じるなど、天文分野の勉強の入口になります。今回、理科の実験では太陽の光には明るさと温かさを感じることを調べました。分校では、午後から教室に太陽の日差しが差し込みますのでその光を利用します。



子どもたちは、晴れて実験ができるように「てるてる坊主」を作っていましたよ！



鏡を複数枚使用し、鏡に反射する太陽の光を重ね合わせると、どんどん明るくなります。光の足し算ができることを発見します！



分校にある鏡を使って、光の進み方を確認します。光は真っすぐ進むので、鏡を複数枚使用し、光の反射を利用すると光を照らしたい場所に、当てることを挑戦しました！



保冷剤を太陽の光に当てると、影に置いてある保冷剤よりも早く溶けます。太陽に光は、「熱」を持っていることを発見します。(日常生活の中でも感じますね。)

今回の実験では、太陽の光には、「明るさ」と「熱」を持っていることを調べることがねらいでした。今回の実験を楽しみながら実践した子どもたちに、実験から学びへ繋がる体験を経て「理科が好き！」と思えるようになってほしいと感じています。

ハンター先生と授業

15日(火)は、今月のハンター先生の2回目の来校日です。4時間目は、小学校3年生の英語の授業をしていただき、5時間目は、小学校と中学校の合同授業を分校教員と一緒にあって関わっていただきました。最初の小学3年生との授業では、数字と色鉛筆の色の組み合わせをハンター先生が発音します。それを聞いて「〇番は、〇色！」と判断して色を塗り進めて行きました。

小学校と中学校の合同授業では、英語を使ったコミュニケーションを図ることを目標とします。リズムに合わせて体を動かすゲームや、福笑い、絵を描くゲームなど英語を交えながら、ハンター先生や分校の子どもたち同士の交流の時間を楽しみました。



授業参観より

16日(水)に参観授業が行われました。中学校教室は、数学の授業でした。授業場面は、平面図形の学習でひし形を扱います。ひし形の対角線が垂直に交わるという性質を利用したり、ひし形の2本の対角線は、垂直に交わることでお互いを等分したりする性質を活用します。図形の特性を確認しながら平面図形の問題解決をし、次の学習を深めていきます。

小学校では、低学年教室、高学年教室、共に国語で文章を書く学習です。低学年教室では起承転結ごとに絵があります。その絵に関連性が生まれるように、主語、述語を意識した文を作ります。高学年教室は、「具体的に」「自分の気持ち」「自分の希望や願い」を文章に盛り込んだ相手に伝える活動を行いました。



お知らせ

- ◎21日(月)は、ひまわり集会準備活動(5時間目)があります。
- ◎22日(火)は、札幌市教育研究事業のため午前授業(1~3時間目)となります。
- ◎24日(木)は、昨年度まで北大病院に管理栄養士として勤務されていた、西村さんによる「栄養・食に関する授業」が5時間目に実施されます。